

第5回感染管理スキルアップ研修会 課題実践報告会



本研修会は、宮崎県内の安全な医療の実現のために、感染管理に関するより専門的な知識及び技術を修得しチームリーダーとして多職種と連携し、所属施設の医療関連感染の予防と管理に貢献できる人材を育成することを目的として実施しています。

県内の医療施設において感染管理を担う看護職22名は、所属施設の課題を分析し具体的な実践計画を立案。7月から9月の3か月間、所属施設の課題改善に向けて取り組みました。

今回、その成果を発表しました。



事業責任者
宮崎県立看護大学
栗原保子 先生



施設紹介、施設の現状分析、課題改善計画と実践、成果と課題…。皆さん、すばらしい発表でした。



手指衛生遵守、吸引や採血における个人防护具の適切な使用、感染対策チームの組織強化とICT (Infection control team) 立上げへ等、各課題の改善に向けて取り組みました。実践では、**スタッフとの協働、多職種との連携、他の施設との連携**を行うなど、チームリーダーとしての役割を發揮していました。

アンケートの結果より

- 似たテーマでも各施設で対策や効果に差があり、自施設でも取り組みたい内容が多く参考になった。施設の現状に合った対策を継続していきたい。
- 他の人の取り組みを聞くことで、自分自身や自施設でも改善すべき点がたくさんみえてきた。
- 講師の先生はじめ看護大学のスタッフの先生方、一緒がんばってきた研修生のメンバー、ならびに学びの機会を与えていただいた職場に感謝です。
- 大変な分だけ達成感がありました。本当にスキルアップになりました。たくさんヒントを得たので、できることをコツコツやっていきたいと思えます。

研修会へご参加いただきありがとうございました。2019年度も開催いたします。2019年3月頃、実施要領を医療施設宛てに郵送いたします。

感染管理認定看護師

感染管理の質向上に向けて具体的な評価や助言をいただきました。



宮崎県立延岡病院
中武和利 先生

学んだことを実践に活かし、役割モデルを發揮している。

実践を継続するには協力者を得ることが重要。



平和台病院
柳原由美子 先生

成果を可視化することは行動変容に効果的。



宮崎県立日南病院
谷口浩子 先生

今回の成果を学会発表へ！



都城市郡医師会病院
徳永智三 先生

